



2022年7月8日
株式会社 阿波銀行

徳島県廃プラスチック処理協同組合の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、徳島県廃プラスチック処理協同組合（代表理事 葉狩 浩、本社：徳島県阿南市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	徳島県廃プラスチック処理協同組合
所在地	徳島県阿南市中大野町南傍示 441 番地 1
代表者	葉狩 浩
業種	プラスチック処理業
設立	1980年2月1日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月8日



徳島県廃プラスチック処理協同組合 代表理事 葉狩 浩

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。	①ハイブリッドカー・電気自動車・燃料電池車(FCV)の導入		
			②2025年度までに導入率50%		
社会・経済	教育への貢献	自社のリソースを最大限活用し、地域の教育に貢献する活動を行います。	①(1)職業体験や出張授業の企画・実施 (2)地域のスポーツ振興、イベントへの参加・協賛		
			②(1)2025年度までの阿南支援学校生徒向け就業体験実施回数を現状の1.5倍に増加(現状週1回) (2)2025年度までに年2回イベント参加・協賛		
社会	従業員のボランティア活動の促進	より良い地域づくりに貢献するため、従業員のボランティア活動参加をサポートします。	①(1)活動日の休暇付与制度の制定 (2)勤務時間内での参加の許可 (3)活動手当の付与		
			②(1)2025年度までに規程・方針を見直し、社内の全社員へ通知 (2)2025年度までに延べ20人参加(5人×4回) (3)2025年度までに延べ20人参加(5人×4回)		
社会	道德教育の推進	道徳的な心情を育て、判断力・実践意欲を持たせ、社会人に必要な道徳性を養う道德教育に取り組みます。	①(1)道德教育に関する冊子の設置 (2)定期的な勉強会の実施		
			②(1)事務所内に月刊誌を引続き設置 (2)年2回勉強会を実施		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。